

2010年9月14日プレスリリース

参照番号：1351

<http://www.iso.org/iso/pressrelease.htm?refid=Ref1351>

ISO の社会的責任に関する規格が発行に向けて承認される

社会的責任（SR）の実施に関する手引を組織に提供する **ISO 26000** は、無事に最終開発段階を通過し、ISO 国際規格としての発行が承認された。ISO は、11月1日の発行を目標にしている。



この規格を作成した専門家の称賛すべき努力を称え、**ISO 事務総長の Rob Steel** は、次のようにコメントした。「ISO 26000 は、社会的に責任のある経営を行うことが“単なる良い考え”であるような組織が、パフォーマンスを目標として実際に社会的責任を実施するのに役立つでしょう。それは、組織が SR の“善意”を“善行”に移すのを助ける力強いツールとなるでしょう。」

ISO 26000 は、官民にかかわらず、あらゆる種類の組織に対して、国際的な規模で統一の手引を提供することになる。この規格は、このテーマに関心のある主要なステークホルダーグループの専門家代表による国際的なコンセンサスを形成した結果であり、世界中で社会的責任のベストプラクティスを実施することを奨励するように作成されている。その文書は、次の事項に対する国際的な合意を詳細に記している。

- SR の定義及び原則
- SR を実施する上で対応すべき中核主題
- 組織の運営全体において SR をどのように統合するかに関する手引

ISO に加入している世界中の国家標準機関メンバーによる ISO 26000 最終国際規格原案（FDIS）の投票は、9月12日に締め切られた。それは、投票国の94%により承認され、ともに規格開発に携わったリエゾン機関からも概ね支持され、本格的な国際規格としての発行への道を開いた。

ISO 26000 の開発は、2005年に開始された。このプロジェクトは、マルチステークホルダーで構成される社会的責任に関する ISO 作業部会（ISO/WG SR）によって進められ、これには、99の ISO メンバー国（うち、69は発展途上国）及び42の官民の両セクターの機関からの専門家及びオブザーバーが参加した。産業界、政府、労働、消費者、NGO、並びにサ

ービス、サポート、研究及びその他の 6 つの主なステークホルダーグループはもとより、地域的にもジェンダー的にもバランスの取れた参加者が参加した。総じて 400 人程度の人々が参加し、未だかつてない最大の ISO 作業部会となった。



ISO/WG SR では、ISO メンバーであるブラジル (ABNT) 及びスウェーデン (SIS) が共同でリーダーシップをとっている。FDIS 投票の結果に反応し、議長 **Jorge E.R. Cajazeira** は、次のように宣言した。「将来、組織が ISO 26000 を見て、“ビジネスにおいて、社会的責任なくしてどうして生き残ることができたろう？”と言うでしょう。そして、全ては、夢をもったチームが、将来がどのようになるかを想像して、そのビジョンを達成するために、5 年間の間一生懸命働いたことによるものです。私は、このような夢のリーダーシップに関われたことを誇りに思います。」



副議長の **Staffan Söderberg** は、次のように言った。「5 年の作業で、我々は、7 つの原則、7 つの中核主題、そして 7 つの実施のためのステップを含む社会的責任に関する 100 ページのガイドについてコンセンサスを得ました。この規格が開発されたプロセスは、かつてないほどに規格を良いものにしました。そして、これは、この最終原案で賛成多数の結果を達成した ISO 26000 のマルチステークホルダーによる開発プロセスの賜物です。我々は、今、この驚くほど素晴らしい文書を、変革をもたらす真の主体である規格のユーザーに手渡すのです。」

ISO 26000 は、ボランティアな手引を含み、ISO 9001 や ISO 14001 といったように第三者認証を意図した規定文書ではない。ISO は、このことが尊重されるよう、警戒している。

ISO 26000 の手引は、既存の官民の両セクターの SR イニシアティブによって開発されたベストプラクティスを活用している。それは、国連及びその構成機関、とりわけその労働基準との整合性を確保するために覚書を結んだ国際労働機関 (ILO)、による関連する宣言又は条約と整合し、またそれを補完するもとなっている。ISO は、また、国連グローバル・コンパクト事務所 (UNGCO) 及び経済協力開発機構 (OECD) とも、ISO 26000 の開発に関する協力促進のため、覚書を締結している。